

## 2024年度 第2回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 2024年 9月 27日(金) 15:30~17:00
2. 開催場所 : 株式会社東北新社 会議室 (東京都港区赤坂 4-8-10)
3. 委員の出席 : 委員総数 7名 / 出席委員数 5名  
出席委員の氏名 : 小池保 委員長、渡辺祥子 委員、渡辺純一 委員、藤森益弘 委員、明智恵子 委員  
欠席委員の氏名 : 谷口恭子 委員、横山宗嘉 委員

放送事業者側出席者氏名 :

<株式会社東北新社メディアサービス>

漆原 弘子 代表取締役社長

<AXN 株式会社 ザ・シネマ事業部>

榎本 豊 ゼネラルマネージャー、(事務局)小林 淳

4. 審議対象チャンネル: ザ・シネマ HD

5. 議題 : 放送企画審議

<審議対象放送企画>

- (1) 放送企画: コロンビア・ピクチャーズ 100周年連動企画
- (2) 放送企画: AmazonStudio 作品 集中編成

6. 審議内容

(1) 放送企画: 「コロンビア・ピクチャーズ 100周年連動企画」について

- ・こういうことをやったらこういう反応があるんだな、という新たな発見はあったか？  
→上映会はロイヤリティの高いイベントになったと考えている。それに対するお客様の高い反応は収穫だった。  
また、SPE側でもこういったイベントや取り組みが一定の感触を得られるという気づきになったという反応であった。
- ・SPE 試写室は広くて綺麗ななので、利用させてもらうのはいいと思う。
- ・これはとてもいいことであるが、「バッドボーイズ」「ゴーストバスターズ」といった作品もいいが、アカデミー作品賞を取った名作と言われる作品について今後放送する予定は無いのか。  
→今回の審議対象期間の前にこの企画が始まっており、そこで「或る日の出来事」「イージー・ライダー」「タクシー・ドライバー」などを取り上げた。
- ・SPE が一緒にやりましょうという中で、協力体制はどうだったのか。作品のセレクトについてはザ・シネマから発注したものか。  
→我々のほうでもこの企画を実施するにあたって、コロンビア・ピクチャーズとはどういうスタジオかということ考えた時に、時代時代で非常に先進的な新しい視点で映画を作ってきたスタジオであると捉えており、その視点で「イージー・ライダー」「タクシー・ドライバー」「未知との遭遇」などを編成している。ただ世間に対してアウトプットするにあたり、新作の公開などと合わせていかないと編成

として出していきづらいということがある。

- ・SPE 側が宣伝したい作品もやる代わりに、なかなか放送で観られないかつての名作群もやるという形で交渉していったのではないか。  
→仰る通りで、その視点で今回我々として選択したのが、この作品群だったということである。
- ・ここまでで放送していない作品でも、アカデミー作品賞を受賞しているような作品は取り上げるべき。
- ・これだけスタジオ企画をやるのであれば、タイアップにしてくれると良いと思うがどうなのか？  
→記念グッズ提供や、ロスアンゼルススタジオツアー2名分などの提供は受けている。
- ・各社試写室での試写会は喜ばれるものだと思う。

## (2)放送企画:「AmazonStudio 作品 集中編成」について

- ・こういうことをやったらこういう反応があるんだな、という新たな発見はあったか？  
→BtoB では独自性、他局との差別化において評価を受けた。また BtoC では、SNS への展開により視聴者からの好反応も多かった。  
これを応用して、昨今過去の映画の「4K レストア」「HD リマスター」が多く行われており、こういったものを放送することで、「テレビ初放送」「CS ベーシック初放送」といった打ち出しができる。そういった施策は開始している。
- ・ザ・シネマでも「ザ・シネマ メンバーズ」という配信サービスを開始している中で、競合相手にもなるのかと思うが、協力関係を築くというような何か将来を見越してのやり取りになるのか？  
→大手配信サービスとは規模、コンセプトが違うので、協力関係などは生まれづらいかと考える
- ・キャパを拡げるという意味では是非今後も取り組みを。

## <事業者回答>

- ・頂いたご意見を真摯に受け止め、今後の番組編成の参考にさせていただく。

以上